

8. インバウンド誘客対策経費 **拡**

(予算額)31,800千円
(所管課)観光政策課

○西日本・九州の自治体が連携した訪日観光客をターゲットとしたプロモーションの実施に要する経費

現状・課題

- 熊本市国際戦略に基づき、アジア各国(中国・台湾・韓国・香港・タイ)を中心に、観光プロモーションを実施し、交流人口の増加に寄与してきた。
- 九州の国際空港にはアジアからの直行便が少なく、長期の滞在や観光消費額の高い欧米豪からの観光客からの入国は、東京や大阪が中心となっている。アジアなどの市場に比べ、欧米豪における九州の認知度はいまだ低く、主に東京、大阪などのゴールデンルートを訪れている。
- 西日本・九州の各自治体が一丸となり、観光消費額の高い欧米豪観光客への認知獲得、誘致促進を行うため「西のゴールデンルートアライアンス」※を設立。
※参加自治体:福岡市、神戸市、姫路市、岡山県、広島県、下関市、高松市、北九州市、武雄市、長崎市、熊本市、別府市、宮崎市、鹿児島市 (令和5年12月22日時点)

事業概要

○事業費:31,800千円

○事業内容

インバウンド誘客促進プロモーション

- (1)東アジア、東南アジア向け誘客プロモーション事業【7,000千円】
九州内の各自治体と連携し、福岡空港を起点とした周遊プロモーションを実施
- (2)欧米豪向けプロモーション事業【21,300千円】^[拡充]
西日本・九州の自治体が一体となり、西のゴールデンルートとして広域観光周遊ルートを設定し、魅力発信、誘客促進プロモーションを実施
- (3)その他【3,500千円】
インバウンド向けの市内街歩きパンフレットの作成や職員による現地プロモーションを実施
 ≪積算内訳≫
 - ・街歩きパンフレット 1,200千円
 - ・職員旅費等 2,300千円

イメージ図

(1)旅行社、インフルエンサーによるモニターツアー

